

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	宮崎県	代表者名	知事 河野 俊嗣
担当者部署	総合政策部	連絡先電話番号	0985-26-7046
担当者役職	主査	担当者氏名	小牧 信也
住所	880-8501 宮崎県宮崎市橋通東2丁目10番1号		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	前田 みゆき
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	本県における状況や最新の国の動きを踏まえ、これから先市町村におけるシステム標準化・共通化の支援を進めていく上でのポイントをご教示いただいた。
アドバイザーへの要望事項	特にございません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年12月15日	フォローアップ(実地)	有	令和6年2月9日	1211
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年2月21日	フォローアップ（オンライン）	11時00分	12時00分	
				活動時間（分）	60
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	市町村のシステム標準化・共通化サポート職員	1人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	
	各市町村令和7年度末に向けて、システム標準化・共通化の取組を進めており、県はサポート事業を展開して、伴走型での支援に取り組んでいる。標準化PMO上の進捗では上位に位置づけているものの、次期LGWANやガバメントクラウド周辺について日々新しい情報が届く中で、国における最新の動向を把握した上で、来年度以降もポイントを押さえながら、本県下市町村の取組をサポートしていく必要がある。	
	支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	
	前回ご講演いただいた後、講演内容を踏まえて市町村支援の事業を実施してきた。来年度も継続して市町村支援を展開していく予定であり、これまで実施してきた市町村支援内容を踏まえて、改めて当県の状況を前田様に共有させていただき、国の最新の動向を踏まえ、今後どのような点に注意しながら標準化・共通化を進めていくべきか改めてアドバイスをいただき、来年度以降の市町村支援の内容をブラッシュアップし、市町村におけるさらなる取組の推進につなげたい。	
	アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	
	ベンダ協議会における動向や移行困難システム等に関する国における最新の状況についてご教授いただいた。また、本県における市町村支援の取組方法、今後考えている支援内容等についてもご説明させていただき、方向性に間違いがないことを確認できた他、不足している部分として、「制度改正を視野に入れたスケジューリングの重要性」、「文字同定作業での注意点（今後を見据えた国が示すツール活用等）」についてもご助言をいただいた。	
	支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	
	ご助言いただいた内容について、早速市町村支援の委託先事業者へ早速含め情報を連携を実施。順次支援の中で市町村への展開を実施していく。また、文字同定作業でのツール活用については、システム開発ベンダに対しても情報を展開予定。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない いただいた情報をもとに、今後も市町村支援を展開していき、最終的に令和7年度末における県下全市町村における標準化対応の完遂を目指す。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	令和7年度末までの長期にわたる取組となるため、すぐに効果がみえるものではないが、国が示すスケジュールに少しでも早く追いつけるよう、取組を進めたい。 ガバメントクラウドに関する事項(利用面、通信面)、補助金の上限額に関する事項等の個別具体的な部分については今後も詳細な情報を押さえながら、システム標準化・共通化という大きな幹の部分でのスケジュール感を押さえ、期間内の全市町村対応完遂となるよう支援を継続する。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	アンケートという形ではないが、サポート事業の中で随時市町村の課題事項等をヒアリングしている。 標準化PMO上令和6年1月末時点で全国6番目の順位であり、成果はできていると考えている。
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	令和7年度末の県下全市町村での標準準拠システムへの移行。 ※令和7年度までの事業としてサポート事業実施中。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



9月講演後の動き

県下26自治体の内、23の自治体に対して伴走型の支援を実施
(※宮崎市、都城市、串間市の3自治体においては、支援不要との意思表示あり。)

■システム標準化・共通化における主な支援内容

(1) Fit & Gap支援

- 情報主管課の進捗管理支援、20業務の原課との直接のFit & Gap伴走
各ベンダの対応方針等の情報整理・提供

(2) 移行計画策定支援

- 各ベンダとの調整、移行計画書ひな形作成・提供(計画書、詳細WBS)

(3) その他情報の整理・提供

- ガバメントクラウド、補助金申請、早期移行団体検証事業、etc

Fit & Gapに関して

対情報主管課だけではなく、直接原課への支援を実施(原則隔週で実施)

【情報主管課向け】

- 20業務に関する全体の進捗管理補助
 - 原課サポートに入った際の状況共有
 - 進捗管理表を作成し全体状況の見えるかを補助
 - 他自治体における状況の共有
 - ベンダにおける認識の確認・情報の共有

【原課様向け】

- 「Fit & Gapとは？」から改めて説明
- 実際にベンダから提出された資料の見方から解説
- 進め方がわからないという原課には直接一緒に作業を実施(伴走支援)
- 同一ベンダの他自治体における課題等を共有

ガバメントクラウド利用について

【状況】

- 各自治体ガバクラ利用開始時期がまだ明確に定まっていない状況
- ガバクラへの接続について回線をどうすべきか未確定
- 共同利用とするのか、どこか運用管理補助となるのか、主要ベンダと
その他ベンダとの兼ね合いをどうすべきかなど整理できていない。

【自治体の抱える課題】

- 独自に回線を引くには費用が高すぎるため、次期LGWAN経由
で接続したいと考えている。
- 次期LGWANの利用開始に関し、第1 Grpに入れたとしてもR6.10~R7.1
と期間に幅があり、利用開始時期が明確にならない。
- そもそもR6.10以前にベンダから利用開始を求められている自治体もあり。
※ベンダによる回線準備に関しては様々。
- 主要ベンダが回線を準備予定の場合でも、それ以外のベンダにおける
ガバクラ利用のための回線をどうするか調整が必要。